

健康検査用の血液で、ワンちゃんの心臓の健康を確かめませんか？

心臓病は、犬の死因第2位！

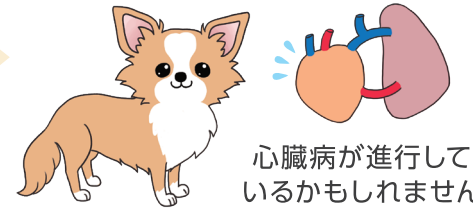
1位 ガン

2位 心臓病

3位 泌尿器系

出典：アニコム「家庭どうぶつ白書2016」

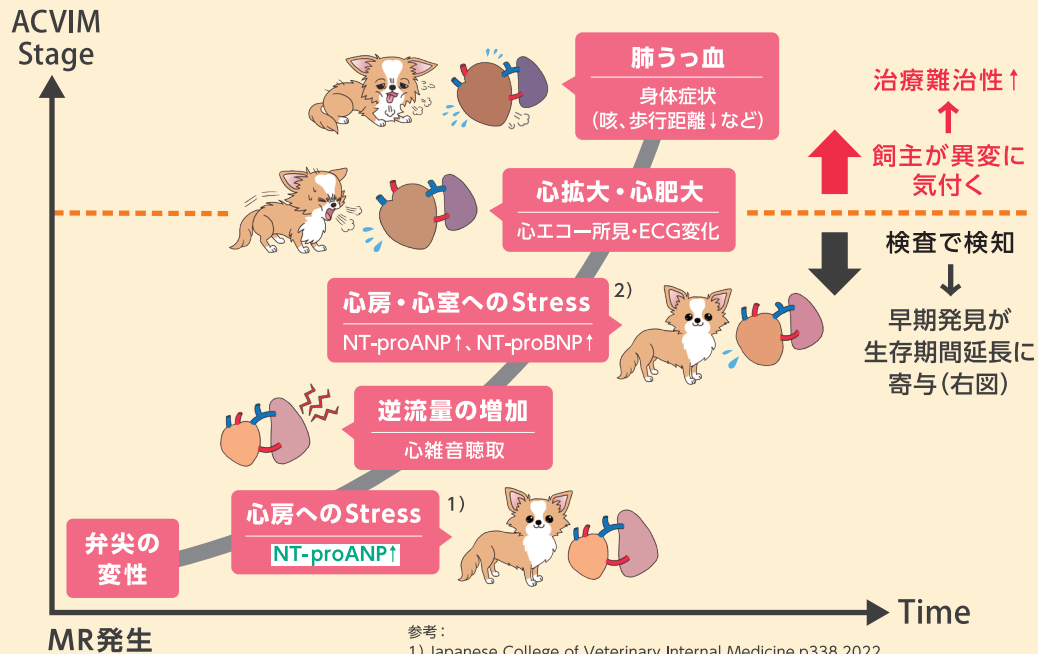
元気に見えても実は…



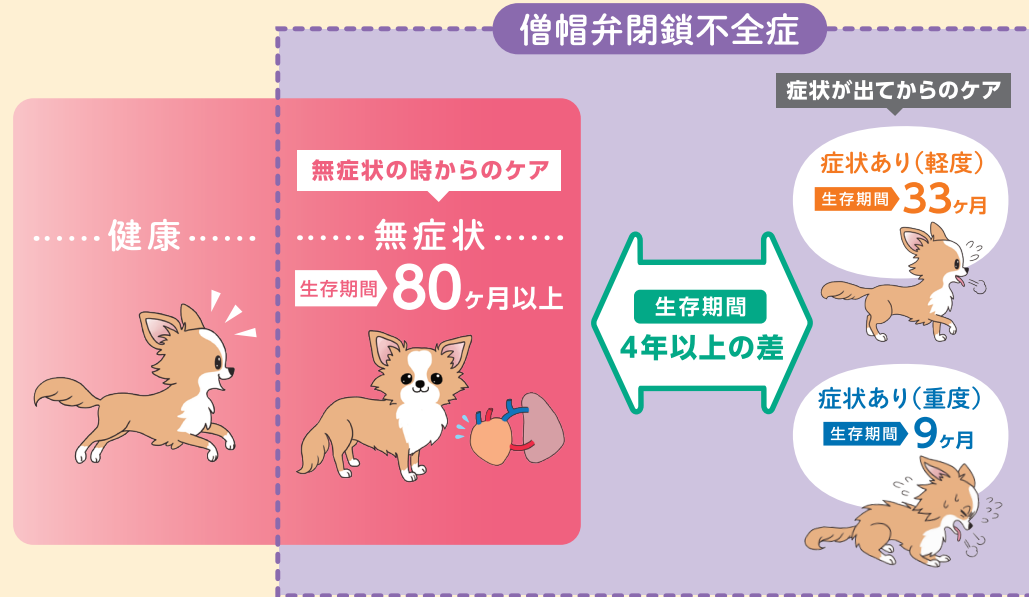
心臓病が進行しているかもしれません

心臓病のうち、僧帽弁閉鎖不全症が75%以上を占めます

僧帽弁閉鎖不全症 (MR) の進行と所見の相関イメージ



ケア開始時期の違いによる生存期間

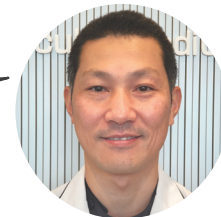


健康な時からの定期的な血液検査は、無症状からのケア開始に貢献します

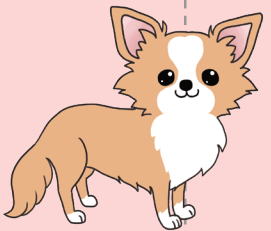
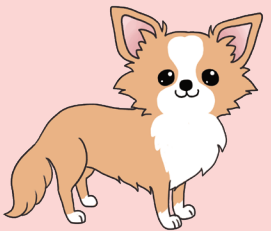


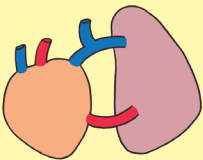
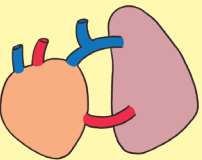
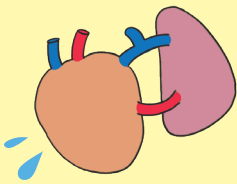
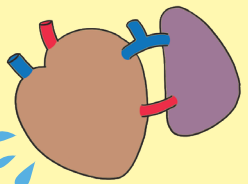
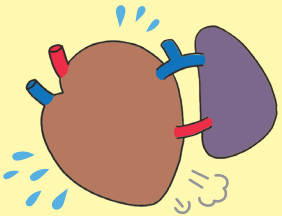
健康検査で採取する血液でできる=ペットへの負担がない
ワンちゃんの心臓の健康を、定期的に確認しませんか？

NT-proANPは僧帽弁閉鎖不全症による左心房への負荷増大を鋭敏に反映します

【監修】大塚駅前どうぶつ病院心臓メディカルクリニック
院長 堀 泰智先生



NT-proANP 検査結果 〈早見表〉

ACVIM ステージ	A	B1	B2	C	D
症状	 <p>症状なし</p>	 <p>目に見える症状なし</p>	 <ul style="list-style-type: none"> 咳が出る 散歩を嫌がる、途中で立ち止まる 舌などの色が真っ青になる(チアノーゼ) 	 <ul style="list-style-type: none"> 呼吸が速く、苦しそう ふらつきや失神が起こる 痩せてくる 	
心臓の状態	 <p>異常なし</p>	 <p>心雑音が出てきます</p>	 <p>負荷がかかって心臓が大きくなります</p>	 <p>肺にむくみ(うっ血)が起こります</p>	 <p>心不全末期で標準的な治療に難治性を示す</p>
治療		治療の検討	投薬の開始 例)ピモベンダン、ACE阻害剤など	薬の種類や量が増えてきます 場合により酸素室、医療用麻薬なども利用します 例)利尿薬など	
NT-proANP値	値 (ng/mL) 13 21 40	※13ng/mL：正常犬の平均値 0～21ng/mL：正常犬の参考基準範囲(平均±2×S.D.) 40ng/mL以上：ROC曲線により決定されたACVIM B1以上に罹患した犬と正常犬との識別値			
	良好ゾーン 定期的な検査を推奨します 1年以内の検査を推奨します	注意ゾーン 経過観察をし、必要に応じて追加検査を推奨します	リスクゾーン 精密検査を推奨します		

NT-proANPを含め心臓バイオマーカーは、心臓病を診断するものではありません

(心臓病の精密検査の例) 超音波検査・胸部X線検査・心電図検査 など ※症状などにより受ける検査は異なります